

# 大分県の温泉施設の責任者の皆様に朗報!!

## 温浴施設向け「NSSシステム」

開発「コンセプト」は「誰でも簡単に」行える「洗浄、殺菌管理」  
「安全性」「耐性菌抑制」「燃料費大幅削減」「レジオネラ菌対策」

公衆浴場や温泉などで、塩素殺菌を薬注器で行なっているにも関わらず、レジオネラ菌による感染被害が多く発生しています。原因の1つとして、バイオフィームと耐性菌による問題が深く関わっています。バイオフィームは、バクテリアの死骸などから生成された粘性物で、表面を蛋白質と脂質の膜で覆われており、この膜の中にレジオネラ菌が入り込むと塩素で殺菌処理しても死滅せず、レジオネラ菌が増殖すると、この膜から循環温水中に入り込み、呼吸器から人体に感染します。おもに、濾過器の中に最も多く生成し、逆流洗浄しても取り切れず、レジオネラ菌の温床になるため、定期的なバイオフィーム取り除く必要があります。耐性菌は、次亜塩素酸ナトリウムなどいつも同じ塩素系殺菌剤に菌が置かれると塩素に強い菌に変化して、塩素剤では殺菌出来なくなります。

化学的に安定かつ安全で、特に構造と溶解性に特徴を持たせ、菌の耐性化を防止し、バイオフィームの生成を抑制します。また、溶出する時間差をつくり、臭素が先に出てプロタミンとなり、次に塩素が出て有効塩素の状態で殺菌致します。単純な塩素・臭素での殺菌ではなく、その時間差、化学構造の組み合わせ、天然由来の蛋白分解酵素を配合とあらゆる工夫を施し、最高のパフォーマンスを発揮するように計算されています。

特徴として耐性菌の生成を防止します。広いPH領域で使用可能です。蛋白分解酵素の配合によりバイオフィームを除去し、生成を抑制します。結合塩素による殺菌力の低下が大幅に抑えられます。溶解形態の改良により金属腐食を大幅に低減し、短時間で溶解させる為に、グラニュールタイプに改良しました。また使用する為の機材や設備(薬注機)は要りません。

毎日の営業終了後「CALFA SAT」をご利用ください。日々、塩素では殺菌できない耐性菌が増殖し続けるろ過器内のバイオフィーム・バクテリアを除去します。あらゆるパターンで殺菌・消毒する為、バクテリア側からみるとまるでバスタード化された殺菌メカニズムですので、これを解読するのは極めて困難です。これこそが「暗号化殺菌」！大切なお客様へいっつも快適なお湯を提供しましょう。

## NSSシステムの洗浄作用と 殺菌作用がバランス良く働いた例



解放時に高圧洗浄、及びブラシ等は一切使用していない。

そこでカルファケミカル社の水処理技術の粋を集めて開発いたしましたCALFA NSSシステム。長年使用されてきました、ハロゲン化ヒタントインの代替えとなる次世代の酵素を含む「塩素」及び「臭素」徐放剤です。シクロジメチルヒタントイン(DCMH)やプロモクロロジメチルヒタントイン(BCDMH)はスィミングプールや冷却塔の、1970年半ばより使用されており、更にカルファケミカル独自の技術により、蛋白分解酵素をキトサン及び特殊安定剤を使用することにより

